

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
1	1	令和5年度に施設利用者向けアンケートを予定されているが、スポーツ実施率の向上のためには、施設を利用していない方を対象にした一般区民対象のアンケートも必要ではないか。	予算も含めアンケート設計について検討する。	令和5年4月に施設を利用していない方も含めた区民アンケートを実施した。 【第6章-3】
2	1	マインドスポーツ・eスポーツも含め、スポーツの捉え方・範囲によってスポーツ実施率は影響を受けるのではないか。	eスポーツも含めてスポーツの定義・範囲を検討する。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章-1-(2)】
3	1	スポーツ施設のバリアフリー化について、車いす競技者のスポーツ実施環境の調査・把握が必要でないか。	障害者のスポーツ実施環境について調査・把握を行う。	—
4	1	障害者に対するスポーツ振興施策が進んでおり、今後の展開が期待されるのではないか。	推進の要因を分析して施策に反映する。	ユニバーサルスポーツを推進する施策に取り組んでいく。 【第4章-基本目標2-(1)】
5	1	総合型地域スポーツ・文化クラブの会員数は横ばいであり、eスポーツなどの新たな活動内容も含め今後検討していく必要がある。	eスポーツへの関心も含めて調査・検討する。	区民アンケートにて、eスポーツの実施状況や活用方法に関する調査を実施した。 【第6章-3】
6	1	スポーツ実施率について、国・都の定義の違いの確認の上で水準を合わせる必要があるのではないか。また、「みる」「ささえる」に関連した目標値を設定できないか。	実施率の定義の確認を行う。また、成果指標の設定について、実施率以外にも検討する。	スポーツ実施率以外の成果指標も各基本目標ごとに設定する。 【第3章-4】
7	1	スポーツ観戦はQOLに貢献するものであり、大学・学校スポーツも含めて観戦機会の多様化を検討できないか。	スポーツ施設以外での観戦機会提供についても反映する。	—
8	1	プロチーム・選手の活躍も目立っており、観戦機会提供に寄与するのではないか。また、積極的な告知や支援などを検討してはどうか。	連携について検討していく。	施策として、試合招待イベントの開催など、観戦機会の拡充に取り組む。 【第4章-基本目標1-(1)】
9	1	パラスポーツは健常者も障害者も共に取り組めるユニバーサルスポーツであることを意識してはどうか。	健常者もともにできるスポーツとして発信・施策検討していく。	ユニバーサルスポーツを推進する施策に取り組んでいく。 【第4章-基本目標2-(1)】
10	1	家族でのスポーツ参加促進が、障害の有無を問わず、子どものスポーツ実施につながるのではないか。	家族・保護者をターゲットとした施策を検討する。	親子をターゲットとした施策を推進していく。 【第4章-基本目標1-(2)(3)】
11	1	キャンプや温浴などの民間リクリエーション施設の機能もスポーツ施設に取り込んではどうか。	スポーツ施設の多機能化について検討する。	—
12	1	スポーツ実施率の低い若年単身世帯を対象とした施策として、深夜利用可能な温浴・トレーニング施設を整備してはどうか。	スポーツ施設の多機能化について検討する。	スポーツ施設の機能充実に取り組んでいく。 【第4章-基本目標3-(1)など】
13	1	「多様な主体におけるスポーツの機会創出」は、特にDX・デジタル活用の視点で推進できるのではないか。それにより、スポーツに対する意欲はあるものの実施できていない層など、多様なニーズを受け止めていく必要があるのではないか。	DX・デジタル活用分野での施策・連携を検討する。	—
14	1	スポーツ実施には教育が重要である。子どもの頃から良い教育を受けていれば、自ずとスポーツを実施するようになるのではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	子どもがスポーツに親しめるきっかけを作れるような施策を進めていく。 【第4章-基本目標1-(2)など】
15	1	学校体育ではオリパラの影響もあり、ダンス、アーバンスポーツも含めて運動・スポーツに親しむ子どもが増えており、レガシー教育、ユニバーサルスポーツの観点も重要ではないか。また、ジェンダー平等など生涯スポーツの観点も重要ではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	幼稚園・小中学校へトップアスリートを派遣するなど、東京2020大会レガシーの取組みを継続するとともに、ユニバーサルスポーツを推進する施策にも取り組んでいく。 【第4章-基本目標2-(1)(4)など】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
16	1	eスポーツに相当する活動は多くの子どもに浸透している。どこからがスポーツなのかは難しいが、デジタル技術を活用した取組みは有効ではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	—
17	1	全国で活躍する部活動種目に加えて、「ゆる部活」「軽スポーツ部」も広がっている。障害のある子どもの参加も含めて施策に反映できるのではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	ユニバーサルスポーツを推進する施策に取り組んでいく。 【第4章－基本目標2－(1)】
18	1	女性、子育て世帯・勤労世帯などのターゲットを絞ったスポーツ実施率向上のため、特に情報提供に課題があるのではないか。	家族・保護者をターゲットとした施策を検討する。	親子をターゲットとした施策を推進するとともに、スポーツに関する情報提供・発信を充実させていく。 【第4章－基本目標1－(2)(3)、基本目標2－(2)】
19	1	昨年度の子どもの体力調査によると、パソコン・スマホ画面を一定時間見ている子どものほうが体力は高く、ライフスタイルは変化しているのではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	—
20	1	学校教育だけでなく、家庭・保護者世代にスポーツの価値を訴求することも効果的ではないか。	家族・保護者をターゲットとした施策を検討する。	親子をターゲットとした施策を推進するとともに、スポーツに関する情報提供・発信を充実させていく。 【第4章－基本目標1－(2)(3)、基本目標2－(2)】
21	2	現行計画におけるスポーツの定義には「健康の維持増進」という表現があるが、「心身の健康」等の表現により、心の健康にも言及してはどうか。	心身の健康への言及を検討する。	施策として心身の健康づくりの促進に取り組む。 【第4章－基本目標1－(4)】
22	2	スポーツの定義はシンプルなものとして、備考のような形でスポーツの捉え方を併記し、マインドスポーツやeスポーツなどにも言及しておいた方が良いのではないか。	スポーツの捉え方や、マインドスポーツ・eスポーツの記載方法を検討する。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章－1－(2)】
23	2	スポーツの定義について、心身の健康につなげるという観点から、「意識的に行う～」よりも「意図的に行う～」という表現の方が適切ではないか。	ご指摘を踏まえて表現方法を検討する。	「意図的に行う」の部分は削除すべき旨の意見に沿い、当該部分の削除を行った。 【第3章－1－(2)】
24	2	スポーツの捉え方として、「幼児の運動」という表現が出てくるが、「幼児の遊び・運動」という表現の方が適切ではないか。	ご指摘を踏まえて表現方法を検討する。	表現方法を見直し、反映を行った。 【第3章－1－(2)】
25	2	「する」「みる」「ささえる」は重なり合うものであり、分断して考えられると違和感がある。「色々な方法で関わる人を増やす」と考える必要があるのではないか。	「する」「みる」「ささえる」それぞれの要素同士の関わりを捉え、色々な形でスポーツに関わる人を増やせる施策を検討する。	「する」、「みる」、「ささえる」それぞれの要素同士の関わりを捉え、施策体系に反映を行った。
26	2	スポーツの捉え方として、「多様性に応じたスポーツ」や「ユニバーサルスポーツ」に言及した方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえて記載方法を検討する。	基本目標の説明文に反映を行った。 【第3章－3－基本目標2】
27	2	スポーツの捉え方として、「鬼ごっこなどの遊びを含む」などと付記しても良いのではないか。	スポーツの捉え方として「鬼ごっこなどの遊び」について付記を検討する。	スポーツの捉え方を見直し、反映を行った。 【第3章－1－(2)】
28	2	基本理念はありたい姿を示すもので最も重要である。区民向けワークショップを開催したり公募したりすることで、色々な方の意見を伺って作られるべきではないか。	区民ワークショップを開催し、意見を集約する。	令和5年5月に区民ワークショップを実施し、意見を集約した。 【第6章－2】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
29	2	基本理念のいつでも・どこでも・だれでも・いつまでも（IDDI）は、基本理念を下支えする普遍性の高い概念であり、変更する必要はないのではないか。	いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも（IDDI）の概念は今後も継続する方向で検討する。	いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも（IDDI）の概念は、基本理念を下支えするものとして継続する。 【第3章-2】
30	2	「世田谷区はスポーツが盛んだと思う区民の割合」は評価が困難である。イベントや活動に自身がどれくらい参加したかという視点で指標を設定する必要があるのではないか。	アウトカム指標として適切な指標を検討する。	アウトカム指標として、「スポーツが地域の活性化に役立っていると思う区民の割合」を設定する。 【第3章-4-基本目標(3)】
31	2	基本目標に基づいて指標が設定されるべきであり、最終的にアウトカム指標で評価することは良いが、そこに至るまでのプロセスを把握するため、アウトプット指標も抑えなければならないのではないか。	取組み・事業についてはアウトプット指標等で進捗管理する。	—
32	2	基本目標は、健康寿命の延伸、医療費の削減などにも踏み込むことができるのではないか。スポーツは、区民の健康、人とのつながり、まちの活性化に貢献する手段であると区民に呼び掛けられると良いのではないか。	目標とする場合には成果指標と紐づけて進捗管理する必要があるため、測定の観点からも検討する。また、区民へ呼びかけられるような内容を検討する。	スポーツを通じ、区民の健康、人とのつながり、まちの活性化に貢献できるものとして、基本目標を設定する。 【第3章-4】
33	2	基本理念は、IDDIの前に、「豊かな心身を育む」等を入れた方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	「豊かな心身を育む」想いも込めて、「スポーツで元気あふれる世田谷」として基本理念を設定する。 【第3章-2】
34	2	基本目標の「共生社会の実現」においては、世代の違いや人種の違いも含めて記載いただいた方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	基本目標を見直し、反映を行った。 【第3章-3-基本目標(2)】
35	2	スポーツ施設の整備において、スポーツをする人を増やすという点では、多目的で使える場所を増やすことが重要ではないか。	スポーツ施設の整備のあり方について検討する。	多目的に利用可能な誰もが使いやすいスポーツ施設の整備を進める。 【第4章-基本目標3-(1)など】
36	2	スポーツ施設の整備においては、DXの推進やPFIの活用に言及すべきではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	—
37	2	スポーツ施設の整備について、何を目的として行うかにより施策が違っているので、目的を明確にすべきではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	—
38	2	スポーツ施設の整備においては、まちづくりや、地域活性化のためのイベント企画などといった観点の施設の利用にも言及できないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	—
39	3	スポーツは競うものであるとは限らないため、本計画におけるスポーツの範囲における「マインドスポーツやeスポーツにも、互いに競い高めあうスポーツの要素が含まれ、」という表現は、「競い」という表現を削除すべきではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	表現方法を見直し、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
40	3	本計画におけるスポーツの範囲における「スポーツの多様性」という表現は、「多様なスポーツ・運動」等の表現の方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	表現方法を見直し、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
41	3	eスポーツはスポーツゲームに過ぎないとの見方もある。ネガティブな側面も多く見てきており、スポーツとして定義するのは時期尚早ではないか。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章-1-(2)】
42	3	マインドスポーツは古くからIOCの認定を受けており、世界標準からしても、これらをスポーツから除外すべきではないのではないか。世田谷区として、心身の健康を目指すところに重点を置いた方が良いのではないか。	マインドスポーツについては、国や都の動向を注視していく。	マインドスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章-1-(2)】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
43	3	多様なスポーツの在り方は認める必要があるが、世田谷区が考える運動やスポーツは、身体活動を伴うものと理解した方が良いのではないかと。	運動やスポーツは身体活動を伴うものを基本としつつ、多様なスポーツの形態を考慮し、範囲やあり方を検討していく。	運動やスポーツは身体活動を伴うものを基本とする。 【第3章-1-(1)】
44	3	eスポーツをスポーツと捉えることで、資金調達につなげられる可能性がある。一方、現行のアンケート調査においてはeスポーツをスポーツに含めていないため、整合性が取れなくなる懸念がある。注視していくという表現に留めることではどうか。	ご指摘を踏まえ、表現を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
45	3	「多様なスポーツ・運動」等の表現を用い、マインドスポーツやeスポーツに係る文言は広く残し、国や都の動向を注視していくこととしてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
46	3	「自転車利用をスポーツに位置付けます」は「自転車利用もスポーツに位置付けます」、「ペットの散歩などを位置付けます」は「ペットの散歩などもスポーツに位置付けます」ではないか。	ご指摘を踏まえて、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
47	3	区として、高齢化対策や医療費削減のためにも身体を動かすことを推奨するようなメッセージを入れることもできるのではないかと。自分の健康は自分で守るということを出しても良いのではないかと。	ご指摘を踏まえて、表現方法を検討する。	基本目標1で生きがいや健康づくりに言及しており、そこに包含したものととして考えていく。 【第3章-3-基本目標(1)】
48	3	「健康づくりや生きがいを創出する」というところから自らの健康増進には触れているため、医療費削減等と敢えて打ち出す必要はないのではないかと。	ご指摘を踏まえて、表現方法を検討する。	基本目標1で生きがいや健康づくりに言及しており、そこに包含したものととして考えていく。 【第3章-3-基本目標(1)】
49	3	基本目標1の成果指標には「週3回以上スポーツする区民の割合」も入れてはどうか。	区民意識調査の際は、週3回以上のスポーツ実施率の設問も継続し、推移を把握していく。基本目標の成果指標としては、週1回以上のスポーツ実施率として設定する。	成果指標は週1回以上のスポーツ実施率を設定する。 【第3章-4-基本目標(1)】
50	3	「スポーツを大切に感じる区民の割合」ではなく、直接的に「スポーツが生活の質を向上につながっていると感じる区民の割合」とすればよいのではないかと。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	成果指標として反映を行った。 【第3章-4-基本目標(1)】
51	3	スポーツ観戦率は、現地でもそうでなくても、スポーツに関心を持って観る人の割合を取る必要があるだろう。頻度としては月に1回以上などとして調査してはどうか。	調査項目及び成果指標として検討する。	—
52	3	基本目標1の成果指標に医療費の削減や健康寿命の延伸を位置づけられないか。	医学的な領域など、様々な要素が含まれることから、成果指標としてとして定めるのは困難であると考えている。	—
53	3	基本目標3の成果指標となっている「1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合」は基本目標1に入るのではないかと。	スポーツを支える活動については、部活動の地域移行や地域の活性化の要素としても考えられることから、基本目標の3番に含める方向で検討する。	「1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合」は基本目標3に分類を行う。 【第3章-4-基本目標(3)】
54	3	基本目標3の柱にはスポーツによる経済効果やボランティア、専門家育成などに係る成果指標が位置づけられるのではないかと。	ボランティアなど、1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合を設定する方向で検討する。	ボランティアなど、1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合を設定する。 【第3章-4-基本目標(3)】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
55	3	「地域のつながりにスポーツが役立っていると思う区民の割合」は、「スポーツを通じて新しい人間関係が形成された区民の割合」等としてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	成果指標を見直し、「スポーツを通じて新たな交流が生まれていると感じる区民の割合」として設定する。 【第3章-4-基本目標(2)】
56	3	部活動の地域移行は今後さらなる検討が必要である。施策体系の中でも位置づけるべきではないか。体育系の大学との連携なども推進できるのではないか。	課題または施策等の内容に反映する。	施策体系において、地域スポーツ団体との連携を位置づけていく。 【第4章-基本目標3-(2)】
57	3	スポーツツーリズムによる地域産業の振興を位置づけるべきではないか。ターゲットを絞った収益性のあるサービス展開等もできるのではないか。	ご指摘を踏まえ、施策展開を検討する。	スポーツの大会・イベントを通じた地域振興として、来訪者もターゲットにした施策を位置づけていく。 【第4章-基本目標3-(4)】
58	3	スポーツは無償ではなく対価を支払うという文化も必要であり、財源を捻出するという観点での施策が必要ではないか。資金、施設、人材を確保するため、企業との連携等も考えられる。	ご指摘を踏まえ、施策展開を検討する。	—
59	3	学校開放のハードルが高いが、もっと開かれた形をとった方が良いのではないか。	担当所管と連携していく。	—
60	4	17頁の「介護予防のためのトレーニング」は、「体力向上や介護予防などのためのトレーニング」と表現を変えてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	「健康維持や介護予防等のための運動」へ修正した。 【第3章-1-(1)】
61	4	17頁の「意図的に行う散歩・散策」は、スポーツ庁の定義でも何気ない散歩をスポーツに含めているので、単に「散歩・散策」が良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
62	4	17頁の「近年高まりがみられるeスポーツにおけるスポーツの要素について」の後に「高齢者の認知症予防、若年層の教育機会提供など」と続くが、活用範囲を狭めなくて良いと考えるため、削除してはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
63	4	17頁のマインドスポーツもスポーツとしての認識を得ているので、「eスポーツ」ではなく「eスポーツやマインドスポーツなど」としてはどうか。「など」の中にはアーバンスポーツ等を広く含められるだろう。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
64	4	17頁の「身体活動」は、「心身のためになる身体活動」としてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	「心と身体の健康のための身体活動」として、反映した。 【第3章-1-(1)】
65	4	17頁（2）の「新たな形態について、」という表現は入れなくても良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
66	4	15頁（3）の「スポーツボランティアへの参加を促進するとともに、」という表現について、スポーツの名の下に無償のボランティアを強いてきた中で、現在様々な箇所で歪みが出てきており、無償ボランティアを想起させる表現は避けた方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、「スポーツボランティア」を直接的に言及するのではなく、「スポーツを支える活動」を促進する旨の表現に修正した。 【第2章-5-(3)】
67	4	アンケートでは「スポーツ」よりも「運動やスポーツ」と表現すると実施率が上がるだろう。	スポーツ実施率の調査を行う際には、「運動やスポーツ」の表現を用いる。	—

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
68	4	スポーツ施設について、（3）身近なスポーツの場について、具体的な場所や写真の掲載はないのだろうか。	具体的な場所や写真の掲載を含め、記載方法を検討する。	具体的な施設の写真を掲載するなど、修正を行った。 【第3章-3-スポーツ環境の整備の考え方-1-(2)-③】
69	4	29頁の「スポーツに触れる場や機会の提供」は、空きスペースを活用したイベントの実施のみとなっている。また、「場所」の他に、早朝や夜間に施設を使える工夫など「時間」の問題に触れる必要がある。「いつでも」という表現を加えてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	空きスペースに留まらず、まちなかで気軽に参加できるスポーツイベントを実施する。また、施策の方向性①を、「いつでも・どこでも気軽にできるスポーツの普及」に修正した。 【第4章-基本目標1-(1)】
70	4	計画の議論とは異なるかもしれないが、32頁の「区民体育大会」は「区民スポーツ大会」と名称を変えた方が親しみやすいのではないかと。	区民体育大会の名称については、国や都の動向を踏まえて検討していく。	—
71	4	48頁のスポーツツーリズムとしては世田谷246ハーフマラソンにだけ触れているが、ツーリズムと言えるほどのものだろうか。「など」を付けてはどうか。イベントは食や音楽の要素を付加して総合型イベントとした方が集客できる。	スポーツツーリズムに関して、世田谷246ハーフマラソン以外にも言及するよう記載方法を検討する。	世田谷246ハーフマラソンのほか、スポーツチームの試合会場での賑わいの創出やまち歩きなどとの連動を追記した。 【第4章-基本目標3-(4)】
72	4	「新しい交流が生まれた区民の割合」という目標が立てられているが、1%上げるには5,000人以上の区民の意見を変える必要があるだろう。どの施策が有効だったか検証するためにも、できるだけ各施策に紐づけて具体的な数値目標を立てておいた方が良いのではないかと。	計画の中では取組みの方向性を示し、具体的な数値までは記載を行わないこととする。評価については、事業ごとに目標値を定めていく。	—
73	4	25頁の「ユニバーサルデザインや多様性に配慮した」というところには、情報のアクセシビリティなども入るだろう。視覚、聴覚障害や多言語対応も含んだ表現とした方が良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	情報のアクセシビリティに関連するものとして、サイン表示に関する内容を追記した。 【第3章-スポーツ環境の整備の考え方-2】
74	4	スポーツツーリズムにおいては、必ずしもスポーツがメインではないのではないかと。スポーツしていない人を取り込むのなら、むしろ音楽や食を中心としたイベントにスポーツの要素を取り入れてもらう方が良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ、施策展開を検討する。	—
75	4	26頁の合理的で質の高い管理運営に関しては、定期的な競争入札と適正な評価手法を用いることに触れても良いのではないかと。既に仕組化されて当然のことと認識されている場合は不要である。	区では「指定管理者制度」を導入しており、専門的なノウハウを持った民間事業者等にスポーツ施設の施設管理及び運営を委託している。また、業者選定の際には、プロポーザルを実施し、審査員の評価を経たうえで決定するなど、適正な手法を用いて実施している。指定管理者制度はホームページ等でも周知しており、区民から認知も一定程度あるものとする。	—
76	4	29頁のスポーツに親しみきっかけづくりにおいては、民間資金を引き出し、ノウハウ等を提供してもらう代わりに広告宣伝や販売促進をさせてあげる必要があるだろう。条例を弾力的に運用し官民連携を推進することについて触れても良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ、今後の課題として検討する。	—
77	4	1頁にデフリンピックに触れているものの、関連する施策が何もない。聴覚障害特別支援学校なども立地しているはずで、学校教育に取り入れられたりすることができないのだろうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	「アメリカをはじめとした海外選手との交流による共生社会推進の取組み」を施策としており、そこに包含したものとする。 【第4章-基本目標2-(4)】
78	4	46頁の「スポ・レクネットを活用した」という表現がみられるが、部活動の地域移行と絡めた記述ができないのだろうか。「連携の模索」等と表現すると良いかもしれない。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	施策の方向性の部分で「中学校部活動の地域移行が検討されるなど…」の文言を追加し、部活動の地域移行と絡めた表現に修正した。 【第4章-基本目標3-(2)】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
79	4	46頁のスポ・レクネットの指導者への研修の中には、ユニバーサルスポーツやパラスポーツの理解向上などは実施されているか。スポーツ推進委員を対象とした同内容の研修は各地域で実施されているので、未実施の場合は検討していただきたい。	現状、スポ・レクネットの研修ではユニバーサルスポーツやパラスポーツの理解向上までは実施されていない。事業実施主体である公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と協議しつつ検討していく。	—